

教員名	柳田 翔平	所属学科	経済学科
<p><b>【ゼミでは何を学ぶのか】</b></p> <p>ゼミでは、行動経済学の理論と応用を学習します。行動経済学は、心理学や実験経済学で確認されてきた認知バイアスや行動パターンを、既存の経済モデルを拡張するかたちで理解しようとする分野です。</p>			
<p><b>【どのように学ぶのか】</b></p> <p>2年次後期には、まず行動経済学の基礎的な概念を理解することから始めます。輪読を通してこれらを学習すると同時に、シンプルなモデルにも触れていきます。3年次には、それまでに学んだ行動経済学のトピックを、数理モデルを用いてより体系的に分析します。ただし、モデル分析だけでは現実との関係が見えにくくなることもあるため、実験や実証研究にも適宜触れる予定です。4年次には、各受講生が関心を持ったトピックについて卒業研究に取り組みます。テーマは、行動経済学およびその応用、あるいは周辺分野であれば、基本的に幅広く認められます。</p>			
<p><b>【学んだことはどのように生かせるのか】</b></p> <p>行動経済学は、私たちの日常的な意思決定を分析する分野です。そのため、日々の行動や判断をこれまでとは異なる視点から捉えられるようになっていくと思います。また、近年ではビジネスや政策の分野でも関心を集めており、社会に出た後も十分に活用できる知識体系だと言えます。ただし、行動経済学は学んだその日にすぐ使えるようなハウツーではないです。体系的に理解するには時間がかかるので、気長にゆっくり学んでもらえればと思います。</p>			
<p><b>【おすすめの入門書・基本テキスト】</b></p> <p>ダン・アリエリー（著）『予想どおりに不合理的』早川書房  森知晴（著）『行動経済学の第一歩』有斐閣</p>			
<p><b>【まだ見ぬ君へのメッセージ】</b></p> <p>大学の4年間には、思いがけないことがたくさん起こると思います。それが思わぬかたちで人生を変えることもあります（私もまさか研究者になれるとは思いませんでした）。大抵のことは何とかできるので、そうした不確実性も含めて楽しんでください。</p>			